

施策名：すべての主体が参加する美しく快適な県づくり

事業名	担当課・室名	ページ
おおいたうつくし作戦推進事業	うつくし作戦推進課	1 / 1

事務事業評価調査

(事業実施年度：平成30年度)

別紙2-4

(評価実施年度：令和元年度)

事業名	おおいたうつくし作戦推進事業		事業期間	平成28年度～令和 年度		政策区分	恵まれた環境の未来への継承～おおいたうつくし作戦の推進～			
						施策区分	すべての主体が参加する美しく快適な県づくり			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	うつくし作戦推進課		評価者	うつくし作戦推進課長 御沓 稔弘			

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	うつくし推進隊による環境保全活動やラグビーワールドカップ来訪者への環境視点のおもてなし活動等を契機に、環境保全活動を県民運動「おおいたうつくし作戦」の更なる浸透を図る。	事業の目的	環境活動の裾野を広げ、将来に向けた担い手の確保を図るため、従来の環境保全活動に地域活性化(まちづくり)の視点を盛り込んだ取組を展開する。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	29年度(決算)	30年度(決算)	元年度(予算)
①「うつくし」ムーブメントの創出(まちづくり) 国民文化祭等を活用した「環境の視点からのおもてなし」活動の実施	①	4,953	総コスト	39,466	40,303	42,147
②おおいたうつくし感謝祭の実施 企画段階から推進隊・企業・行政等が広く参加する「県民実行型」の環境イベントを開催	②	3,562	事業費	15,466	16,303	18,147
③おおいたうつくし作戦の展開(なかまづくり) 県内各地域の環境課題の解決に向けた委託事業を提案公募により実施等	③	3,465	(うち一般財源)	2,069	6,253	4,648
④おおいたうつくし作戦県民会議・実施本部会議開催 学識経験者、環境関連企業等からなる県民会議や庁内幹部による実施本部会議を開催	④	1,539	人件費	24,000	24,000	24,000
	計	13,519	職員数(人)	2.40	2.40	2.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	a	まちづくり事業実施団体数(者)	目標値	10	10	6		37%	なかまづくり事業実施団体数(者)	目標値		9	5		
実績値			6	12			7								
達成率			60.0%	120.0%			77.8%								
うつくし感謝祭出展ブース数(枠)		目標値			15	15		26%	県民会議出席者数(人)	目標値	200	200	200		11%
		実績値			16					200	200				
		達成率			106.7%					100.0%	100.0%				

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	29年度	30年度	元年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
a	うつくし大行動参加人数(人)	目標値	369,000	374,000	379,000		a	地域で環境保全活動を行う団体の掘り起こしによるうつくし推進隊の増加や市町村等への積極的な呼びかけにより、過去最高の参加者数となった。
		実績値	372,337	378,272				
		達成率	100.9%	101.1%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 「おおいたうつくし作戦」は県民に浸透してきているが、「環境保全活動を通じて地域を元気にする」というイメージがわかりにくい 推進隊による環境保全活動やラグビーワールドカップでの「環境視点からのおもてなし」活動などによる県民への更なる浸透 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 新たな環境保全団体やまちづくり団体等の掘り起こし モデル事業の実施により見える化を図り、「うつくし作戦」をさらに普及 「環境視点からのおもてなし」活動などによる環境保全活動の促進 				